

2. 各特別勘定の運用状況

日本株式型特別勘定 運用状況 (2010年3月末現在)

運用方針

- 主に日本企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 東証株価指数(TOPIX)を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行っていきます。

資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	17,896,529	99.3%
現預金・その他	128,152	0.7%
合計	18,024,681	100.0%

運用状況

2010年3月の国内株式市場はTOPIX(配当込み)で前月比10.41%上昇しました。日本銀行の追加金融緩和策が決定されたことなどが好材料となった他、輸出の伸びや企業収益の改善を受け輸出株関連を中心に上昇しました。円安が進行したこともあり、日経平均は月間で963円高の11,089円となりました。このような市場環境の中、当特別勘定は9.93%上昇しました。

現在、マルチ・マネージャー型の「ラッセル日本株式ファンドI-3」、バリュー運用を行う「日本株バリューマルチマネージャーファンド」および「SGターゲット・ジャパン・ファンド」への投資を行っています。

3月は当勘定における投資信託の売買はありませんでした。

4月についても、これらのファンドへの投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
94.30226990	+9.93%	+7.85%	+6.02%	+28.81%	▲38.76%	▲15.35%	▲5.70%

(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点(1986年12月1日)を「100」として数値化したものです。

ユニット・プライスの推移(運用開始日:1986年12月1日)



ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]

ラッセル日本株式ファンド I-3 (68.5%) : p15上段
日本株バリューマルチマネージャーファンド (17.3%) : p15下段
SGターゲット・ジャパン・ファンド (13.5%) p16上段
現預金・その他 (0.7%)

(注)「p15上段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。